

The 1st International Symposium for Color Science and Art 2019  
The Interaction between Technology and Art on Color  
東京工芸大学「私立大学研究ブランディング事業」平成30年度国際シンポジウム

**主催**

東京工芸大学 「色の国際科学芸術研究センター」

**協賛学会 (案)**

日本印刷学会、日本画像学会、画像電子学会、日本色彩学会、日本写真学会、日本写真芸術学会  
(50音順)

**開催日時**：2019年3月15日(金) 10時～16時50分

**開催場所**：東京工芸大学中野キャンパス

芸術情報館1階メインホール、1号館1階インフォメーションコーナー、2号館1階メディアラウンジ



地下鉄／東京メトロ丸ノ内線・都営地下鉄大江戸線—中野坂上駅下車 徒歩約7分  
1番出口より山手通りを初台・大橋方向に進み、成願寺を右折

**お問い合わせ**：

東京工芸大学厚木キャンパス事務部 教育研究支援課

神奈川県厚木市飯山1583

Tel:046-242-9964 Fax:046-242-9510 E-mail:er-support@office.t-kougei.ac.jp

**公式サイト**：

<https://www.color.t-kougei.ac.jp/events/>

<https://www.facebook.com/kougei.collab.gallery/> (Facebook)

## スケジュール

受付		(場所：芸術情報館1階 エントランスホール)
09:30～	受付	
セッション1	司会・進行 内田教授	(会場：芸術情報館1階 メインホール)
10:00～10:15 (15分)	開会挨拶	義江 龍一郎 学長 開会挨拶及びブランディング事業全体説明
10:15～11:10 (55分)	招待講演1	Prof. Jussi Parkkinen (東フィンランド大学教授) <b>Spectral Imaging and Color in Art</b>
11:10～11:30 (20分)	企画展の紹介	野口 靖 色の国際科学芸術研究センター長(本学芸術学部教授) カラボ・ギャラリー「第1・2回企画展」について
ポスターセッション 昼食		1号館1階インフォメーションコーナー(8件) 2号館1階メディアラウンジ(9件)
11:30～13:00 (90分)	ポスターセッション と 昼食	ポスター発表：17件
セッション2	司会・進行 久原教授	(会場：芸術情報館1階 メインホール)
13:30～14:25 (55分)	招待講演2	Prof. M. James Shyu (中国文化大学教授) <b>Application of High Dynamic Range Imaging Technology to Photographic Art</b>
14:25～14:50 (25分)	事業研究者講演	東 吉彦 (本学工学部准教授) 「ディスプレイによる 写真プリントの見える再現」
14:50～15:00 (10分)	休憩	
セッション3	司会・進行 野口教授	(会場：芸術情報館1階 メインホール)
15:00～15:20 (20分)	企画展の紹介	森山 剛 (本学工学部准教授) カラボ・ギャラリー第3回企画展 「色を探検する展」
15:20～16:15 (55分)	招待講演3	Prof. Aran Hansuebsai (タイチュラロンコン大学教授) <b>Effect of Color Saturation on Buying Decision Model for Printed Durian Image on Packages</b>
16:15～16:40 (25分)	事業研究者講演	久原 泰雄 (本学芸術学部教授) 「色の表現を創生するディープラーニングを使用したインタラクティブアートに関する基礎研究」
16:40～16:45 (5分)	閉会挨拶	内田 孝幸 色の国際科学芸術研究副センター長 (本学工学部教授)

ポスターセッション 時間 11:30~13:00 (90分)

場所：1号館1階インフォメーションスペース (8件)		
番号	研究題目	研究代表者・ 発表者
1	色と抽象概念の比喩的連想：「未来」について	松中 義大
2	非集中（／注意散漫）状態を防ぐためのスマートLED照明システムの開発	辛 徳・ 関口 真之
3	混色教育のためのカラーミキサの開発とアウトリーチ活動	徳山喜政・ 中楯末三
4	色を活用した教育・コミュニケーションシステムの研究	曾根 順治
5	舌提示の安定性のため舌画像解析装置（TIAS）に小型ウェアラブルディスプレイを取りつけた効果	内田 孝幸
6	R G B 3色レーザーを用いた共通光路位相シフト干渉顕微鏡の研究	陳 軍
7	医療環境に最適な照明色条件に関する検討	森山 剛
8	光の色により情報伝達を行うポールの開発	大海 悠太
場所：2号館1階メディアラウンジ (9件)		
番号	研究題目	研究代表者・ 発表者
9	「色を残す」植田正治カラー作品の保存とデジタルアーカイブ作成	田中 仁
10		細萱 敦
11	主要構造部材への適用を目指したカラーコンクリートに関する研究	陣内 浩
12	メタマテリアルを用いたエレクトロクロミック表示の高速化	山田 勝実
13	色の力で動く分子ロボット：構造色を利用した中高生向け理科教育教材の開発	比江島 俊浩
14	伝統的手法で抽出されたベニバナ色素の緑色金属光沢の科学的解明	矢島 仁
15	色検出と遺伝的アルゴリズムを用いた実時間自己位置同定法	鈴木 秀和・ 渡辺 香
16	粗片化描画手法による色計算における高速化手法	今給黎 隆
17	人体通信を利用した色情報の伝送	越地 福朗

## 平成 28 年度文部科学省「私立大学研究ブランディング事業」について

「私立大学研究ブランディング事業」は、学長のリーダーシップの下、優先課題として全学的な独自色を大きく打ち出す研究に取り組む私立大学等に対し、経常費・施設費・設備費を一体として重点的に支援するもので、平成 28 年度には全国の私立大学から 198 件の申請があり、本学を含む 40 校が選定されました。

本学では工学部・芸術学部、工学研究科・芸術学研究科に共通する全学的な研究テーマとして、「色」を取り上げ、国内の大学では唯一となる「色の国際科学芸術研究拠点」を形成し、「色といえば東京工芸大学」と言われるようなブランドを築くとともに、「真の工・芸融合」を目指します。

